

2021年3月5日

アフラックスクエアでの再生可能エネルギーの導入について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、当社が保有するオフィスビル「アフラックスクエア（東京都調布市）」で使用するすべての電力について、CO₂を排出しない再生可能エネルギーへの切り替えを行いました。これにより、同ビルが1年間に排出するCO₂の約80%に当たる約2,200トンを削減できる見込みであり、これは杉の木約15万本が1年間に吸収するCO₂に相当*1します。

当社は、「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を掲げ、誰もが安心して健やかに自分らしく生きる社会の実現に貢献するため、持続可能な環境づくりに努めることの重要性を十分に認識し、環境保護の取り組みを行っています。そして、企業活動を通じた一層の戦略的かつ体系的な「環境経営」を推進するため、基本理念と具体的な活動指針を定めた「環境経営宣言」を2019年8月に制定し、環境重点テーマとそれに関連する目標を策定しました。



アフラックスクエア

そのなかで、「気候変動への対応」をテーマとして、アフラックスクエアのCO₂排出量を2030年までに50%削減(2007年比)するという目標を掲げています。この度、アフラックスクエアで使用するすべての電力について、CO₂を排出しない再生可能エネルギーに変更したことで、CO₂排出量の削減目標を前倒しで達成できる見込みです。

これからも当社は、全役職員が一丸となり、持続可能な社会と企業の成長を目指して、環境に配慮した事業運営と社会貢献に取り組むとともに、ステークホルダーの皆様と継続的な対話や協働を行うことで、社会と共有できる価値の創造（CSV*2経営）に努めてまいります。

【当社の環境経営における環境重点テーマと目標】

環境重点テーマ	項目	目標
気候変動への対応	CO ₂ 排出量の削減	当社の国内保有物件(アフラックスクエア)のCO ₂ 排出量を2030年までに50%削減(2007年比)することを目指します。
	エネルギー(電気・ガス)使用量の削減	当社の国内保有物件(アフラックスクエア)のエネルギー使用量を2030年までに60%削減(2007年比)することを目指します。
	ビル認証の維持	当社の国内保有物件(アフラックスクエア)のLEED認証*3の取得を維持します。
持続可能な資源利用	紙使用量の削減	当社の事業運営における紙使用量の削減を目指します。
ステークホルダーエンゲージメント	社員啓発の実施	当社の役職員が環境教育研修を受講することを目指します。
		当社の役職員が環境関連活動に積極的に参画することを目指します。

*1 杉の木1本あたり年間14kgのCO₂を吸収（出典：環境省／林野庁）

*2 Creating Shared Value

*3 一般社団法人グリーンビルディングジャパンによる認証制度で、環境性能の高い建築物等に与えられるグリーンビルディング認証